

II 教育課程

1 教育目標

よく学び 助け合い やりぬく よい子

2 重点目標

〔知育〕

・学び合い「わかる」「できる」を積み重ねる子ども

〔徳育〕

・自他のよさを認め合い、助け合う子ども

〔体育〕

・体力づくりや健康な生活づくりに取り組む子ども

〔郷土愛〕

・佐渡を愛し、夢もてる子ども

3 重点目標達成に向けた教育活動

《学校共通目標》→学校評価として実施

〔知育〕

- ①「授業がよく分かる」とする子どもが90%以上になる。
- ②単元末テスト（国・算）で全国平均を上回る。
- ③「進んで（計画的に）家庭学習ができた」とする子どもが90%以上になる。

〔徳育〕

- ①「学校が楽しい」とする子どもが90%以上になる。
- ②「時と場に応じた挨拶や言葉遣いがよくできている」とする子どもが80%以上になる。

〔体育〕

- ①体力テストの長座体前屈で、全国平均を上回る人数が70%以上になる。
- ②「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアコントロール」で、肯定的評価の子どもが80%以上になる。

〔郷土愛〕

- ①「佐渡について伝えることができる」とする子どもが90%以上になる。
- ②「将来に夢がある」とする子どもが90%以上になる。

《学年・学級の目標》→教員評価として実施

教員評価シートにて、学年・学級の実態に合わせて設定する。

- [学習指導] [学年・学級経営] [校務分掌等] [その他] の4つの観点から、教員評価シートに「具体的な目標」「具体的な方策」を記入する。（4月）（5月に申告）
 - * 「学習指導」、「学年・学級経営」については、できるだけ学校共通目標と関連付けた目標・方策を設定する。（目標設定面談：7月）
- 方策や目標の進捗状況を評価し、管理職面談を行う。（進捗状況面談：10～11月、評価シート開示面談：2～3月）

4 目指す学校像

- 1 子どもが、生き生きと学習し、笑顔あふれる学校。
- 2 保護者が、信頼でき、子どもの成長が見える学校。
- 3 地域の方々が、親しみをもて、明るく開かれた学校。
- 4 教師が、自ら成長しながら、子どものよさを引き出し、働きがいのある学校。

